

# 建替え都営住宅の地元割当公募、解体工事の事前周知を



## 第4回定例会で 近藤区議が一般質問しました

近藤区議は

最初に、区議会第1回定例会で全会一致で意見書を可決した建て替え都営住宅の地元割当公募の実施について、都に対してひき続き強く要求することを求めました。そのうえで都がどうしても応じない場合は、井大町アパートについては区への移管を求め、都営住宅の増設を都に要望することと区営住宅の積極的な建設を求めました。

区は、建替え都営住宅の地元割当公募については「都営住宅の増設については」また、都営住宅の増設については「建て替えの際には、掘削と様々なタイプの住宅の整備を要請していく」と答弁しましたが、区営住宅の建設については「コストックの有

効活用へと政策転換を図っていくべき」と否定的な回答を示しました。

次に、騒音、振動などの苦情が相次いでいる建築物の解体工事について、11月9日の標準設置や工期、解体方法、作業時間などの説明の義務付けなど、事前周知の制度化を提案しました。

区は、「解体工事の事前周知」に関する新たなしくみについて検討を交わっている」として、「対象の範囲や事前周知の説明事項、掘削の設置や時期等」について具体的な検討を重ね、周辺住民の被害や紛争を未然に防止できよう、効果的な対策を求めたい」と答弁しました。



### 日本共産党

### 住宅リフォーム工事資金助成案を

### を提案

この条例案は、区民が区内施工業者により個人住宅のリフォーム工事をとおこなった場合に、15万円を限度に工事費の5%を助成するもので、区民の安全で快適な居住環境の確保と区内施工業者の発展を促すことが目的です。

中越地震等の発生により、区民のみなさんの耐震化への関心が高まっています。区は今年7月から、1981年の新耐震基準以前に建てられた木造住宅を対象に、耐震

補強工事をおこなうことを条件に、住宅リフォーム工事資金助成案として耐震診断と工事計画作成費用への助成事業を始めたいです。これは重要な事業ですが、耐震工事そのものの助成がないため、経済的な不安などからこの助成を受けることを躊躇する事例も生まれています。

このように耐震工事をする中で、このような方が工事をしやすくなりました。最終的な採決は12月6日

の住宅の耐震工事費にも助成することで、安全な住宅づくりを促進するものです。また、耐震化以外のリフォーム工事にも助成し、全区として区内施工業者の発展を図ります。

条例案は30日の環境健康委員会採決、共産、花マルクラブが賛成し、公明、自民、新宿無所属クラブが反対。3対5で否決となりました。最終的な採決は12月6日の本会議でおこなわれます。

子どもも高齢者も輝く新宿へ  
日本共産党新宿区議会議員  
こんにちは

## 近藤なつ子

近藤なつ子事務所  
No.87 2004.12.5 発行:近藤なつ子事務所  
区議団控室:TEL5273-3551、Fax3200-1474  
自宅:TEL3200-5164、Fax3200-5163  
e-mail:natsuko\_kon86@muf.biglobe.ne.jp  
HP:http://www.5e.biglobe.ne.jp/natsu86/



### 戸山東公園

戸山一丁目・  
児童遊園センター表

### が明るくなりました

▼戸山東公園は、小さな公園ですが、近所の子供たちがよく遊んでいます。格く死傷が多かったこの公園で(写真上)、子どもにいたずらをする等の事件が何件か発生していました。区に「株を切って公園を明るくして」と近所のお母さんたちから要望があり、こんなに変わりました(写真下)。